

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎緑政の経費

緑地維持管理事業

【 公園海浜課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 防災に配慮しつつ、樹木伐採等を行うことにより、良好な緑地の維持管理を図るため。

効果 より適確な植生管理を行うことにより良質な樹林地の形成を図る。

【事業の内容】

(1) 緑地維持管理事業

- ・緑地の樹木枝払いや崩落危険箇所の防災工事を行った。
- ・フェンスなど管理施設老朽化に伴う修繕を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
40,364	40,364	37,672		2,692

主な支出内訳

・緑地維持管理事業

管理施設維持修繕料

3,469

緑地維持管理委託料(稲村ガ崎1-1号緑地外67箇所 除草工151,706㎡)

29,979

緑地維持管理工事請負費(岡本戸部緑地外1箇所 土砂流出防止工10m)

3,161

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 景観-11 緑地維持管理事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	1151 緑地維持管理事業					
主管課 分野名	公園海浜課	関連課					
目標 (目標値)	みどり						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	37,672千円	39,372千円	44,408千円			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	37,672千円	39,372千円	44,408千円			
	人員配置数	2.6人	2.6人	2.6人			
	人件費	24,440千円	24,571千円	24,239千円			
事務事業 運営経費	協働の パートナー						
	総事業費	62,112千円	63,943千円	68,647千円			
	市民1人当 りの経費	352円	364円	392円			
	対象者1人 当りの経費						
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
						※妥当性の評価	
						① 必要性なし	
						② 民間	
						③ 国・県	
						④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ○緑地の維持管理は、それぞれの緑地の目的、機能に応じた植生の目標を定め、適正な維持管理を継続的に行う必要があるが、市有緑地も、市内の他の樹林地同様、長年手入れがなされていない状況にあることから、隣接宅地等の日常生活への影響に配慮した危険木の枝払い、伐採等に業務が終始し、本来の目的を達成するのが難しい状況にある。 ○住民要望にも十分配慮し、業務内容を精査して経費の縮減を図るとともに、良好な樹林地育成を目指す。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をされましたか。また、どのような成果がありましたか) ○前年度と同様に危険を伴わない草刈、枝払い等の軽作業については、市民ボランティア等と協働で、維持管理業務を実施した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ○緑地の維持管理業務は、要望等への対応も多く、本来の目的が達成できない状況にある。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ○住民要望等にも十分に配慮し、業務内容を精査して経費の節減を図るとともに、本来の目的である良好な樹林地育成のための業務を推進する必要がある。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 無
	市が維持管理している緑地は毎年増加している。本来緑地は、目標林層を定めて維持管理を計画的に行うべきであるが、現状では家屋等に隣接する緑地樹木の枝払等、住民の要望に応じた緊急対応的な処理作業を行える程度の予算規模である。樹木も大径化し管理も難しい状況にあるが、今後も、緑地の持つ機能を最大限発揮できるような維持管理を目指す。				
担当課長氏名:	公園海浜課長代理 川名 達哉				

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 無
	緑地は、都市の骨格として自然・歴史と町並み調和した都市景観を形成しており、今後も植生管理の観点などを加味した都市機能の充実につながる緑地管理でみどり豊かな緑地の保全に努める。				
担当部名	景観部	部長名	土屋 志郎		